※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　新編「言語文化」（数研出版）						
副教材等	読解現代文必携　キーワードの卵（尚文出版） 用言徹底ワーク（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では古典を読解・鑑賞する能力を養い古典に親しみ、古典的素養を身につけるとともに、近現代以降の文章を読み、日本の言語文化への理解を深めます。
・予習として必ず本文に目を通しておきましょう。漢字の読み書き、語彙力や文法の知識を身につけ、授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限と範囲は正確に守りましょう。

2　学習の到達目標

・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法や歴史的な背景を理解するとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。
・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、自分との違いや類似点に気づき、受けとめ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて自分の言葉で活用することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の基本的な知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、文学作品をもとに深く考察し、根拠を明確にして判断するとともに、自分の考えを的確に表現できる。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、指定された提出物や課題に丁寧に取り組み、完遂させることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典の世界を楽しむ ［教材］「古文に親しもう」『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	地域の「ことば」 ［教材］『とんかつ』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	古文の世界を楽しむ ［教材］『宇治拾遺物語』「検非違使忠明」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、自らがそのような思いをした経験について周囲と共有している。	・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
2学期	和歌が作り出す世界 ［教材］「和歌を訳す」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：学習課題に沿って、粘り強く課題の作成に取り組もうとしている。	・記述確認	・記述確認	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	現代にも生きる教え ［教材］『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について説明できる。 c：積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	受け継がれる古文 ［教材］『羅生門』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。	・小テスト ・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
3学期	故事と成語 ［教材］『戦国策』「虎の威を借る狐」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検
	漢詩を味わう ［教材］「春暁」、「江雪」「春望」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：日本で書かれた漢詩を調べて発表する活動において、粘り強く取り組んでいる。	・定期考査	・記述確認 ・定期考査	・行動観察 ・振り返りシート ・記述点検

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

※令和４年度以降入学生用

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　５　　）時間

・読むこと　…　（　　６５　　）時間